

演習 I

科目ナンバリング SEM-301

必修 2単位

谷崎 敦彦

1. 授業の概要(ねらい)

本ゼミの最終目的は、将来、日本のスポーツ業界を担う人材を育成することである。学生は「スポーツマネジメント」の深淵を系統的に学ぶ。「昨年のラグビーW杯」で日本中にスポーツ熱が高まり、「本年東京五輪開催」に向けて益々注目が集まる今日の「スポーツビジネス界」。本ゼミではスポーツの現場に起こり得る様々な課題を自分の「知識」、「理論」、「感性」を用いて自分なりの最適解を求めて行く過程を学ぶ。具体的には毎授業にてメディア等を通じて報道されたプロスポーツ組織の活動をテーマとして小グループに分けた班毎が「課題」を特定し、①「現状認識」②「課題抽出」③「最適解の提示」を含めたプレゼンを行い、皆でグループワークを重ねる。所謂「ラーニング スタイル」を適用する。皆でグループワークを重ね、ある方向性を導き出す醍醐味を体験的に学ぶ。地上波TVのみならず新しいメディア「OTT」(Over The Top)とスポーツとの関連にも注視する。学生には年二回、春期と夏期に合宿参加を促す。予め規定された「テーマ」をグループ毎に討議し、皆の前で発表する機会を経てプレゼンテーション技能・コミュニケーション能力の向上を図る。最終的には学内外で開催される「発表会」等にてその研究課題を発表することを目的とする。

2. 授業の到達目標

講義を受けた受動的な「知識」から模範解答を得るのではなく、自己の過去の経験、推察力、感性などを駆使し、(その時点での)最適解を導き出すこと＝「ラーニング」(求心的学習法)の概念を毎授業を通じて理解する。ゼミ員全てが大学内外の「プレゼン」の場で発表を行えるレベルを目指す。何故「スポーツマネジメント」が一般の「企業経営」よりも難度が高いと言われる所以を一緒に考えて欲しい。

3. 成績評価の方法および基準

出席：毎回の出席と春(5月初旬)・夏(9月初旬)の合宿参加
レポート：期中に2回の課題レポート提出
試験：期中に2回の試験内容
期末に行う班毎の研究発表・ゼミへの貢献度などを総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
小林至 『スポーツの経済学』
参考文献
玉木正之 『スポーツとは何か』

5. 準備学習の内容

毎回紹介する参考文献の熟読が前提。絶えず文章化することにより自己の理解度を深めること。
日常の情報の中で「スポーツ理解度」を高める努力をすること。

6. その他履修上の注意事項

- (1)時間厳守・・・5分前行動
- (2)クイックリスポンス
- (3)アイコンタクト+全員発言

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス、授業の進め方、評価方法、留意点 |
| 【第2回】 | 日本のスポーツビジネス概論 |
| 【第3回】 | 班分け並びに研究課題討議 |
| 【第4回】 | 前期目標発表・討議 |
| 【第5回】 | 班毎の課題研究(その1) |
| 【第6回】 | 班毎の課題研究(その2) |
| 【第7回】 | 班毎の課題研究(その3) |
| 【第8回】 | 課題レポート提出 |
| 【第9回】 | 研究発表(その1) |
| 【第10回】 | 研究発表(その2) |
| 【第11回】 | 研究発表(その3) |
| 【第12回】 | スポーツ有識者からの講演 |
| 【第13回】 | 夏合宿準備(1) |
| 【第14回】 | 夏合宿準備(2)並びに秋期に於ける研究課題抽出 |
| 【第15回】 | まとめと試験 |